

固木造住宅の耐震改修事業の進捗状況は、また、耐震シエルター、耐震ベッドの活用について市の考えは。

建設部長 平成20年度から
の木造住宅耐震改修事業は、
耐震診断245件、本格耐震
改修76件、簡易改修が2件と
なっている。耐震シェルター
等は家屋が倒壊しても一定の
空間を確保し命を守ることに
有効であり経済的理由等で耐
震改修ができるない場合などの
対応策として検討したい。

問 東日本大震災の被災自治体への職員派遣や、災害時相互支援協定締結自治体との職員の相互派遣の考えは。

危機管理監　被災地への派遣は長期となり専門職の要望が多く難しい。相互応援協定を結ぶ2市との連携交流の機会の拡大を図りたい。

問児童数の減少で余裕が生まれた教室や、校舎を民俗資料館や地域の拠点施設として活用できないか。

教育部长 24年度には全学年
の小学校で各校舎、各階に1
力所の洋式トイレを設置した
25年度は大住中学校で洋式ト
イレの工事を計画している。
今後の洋式トイレの整備は改
修事業などを計画する際に併
せて実施したい。

サポート型預かり保育の試みは大きな前進だ。他の市立幼稚園では3歳児は預かり保育の対象外となっているが3歳児は無理なのか。また、通園バスや給食についての考えは原則は4、5歳が対象だが、実情を踏まえ柔軟に対応したい。通園バス、給食の実施は考えていない。

問 問題 答 答案

耐震シエルターの活用は 有効な対応策として検討

間各小学校への空調設備導入計画の現状を問う。財政面では国からの補助を受けられたが、今後事業実施にあたり平成26年2学期からの全校一斉の供用開始が望まれる。工

問 小学校にクーラー設置を

答 平成26年9月完成目指し計画



空調設備の設置が待たれる 市内の小学校

問 ワンルーム
マンションを中心とした空き室対策について自解と取り組み方策を問う。今春の同志社大学文系学部の移転で学生数が減少し、マンションの空き室問題と家賃の価格破壊が生じるなど深刻化していると聞く

、化生質生文書力見呈申云
し、必要に応じ対策となる
うな情報提供などを検討して
いきたい。
■再生可能エネルギー施策
について。太陽光発電を今後
普及促進していく施策において、
公共施設への設置支援について
聞いて。分館である各地区
域の公民館への設置について、
設置基準を満たした地域から
要望があつた場合の考えは。
市でも再生エネ
ルギー推進を図っている。社
会情勢に合わせて、要項変更

本市では、中小企業がたす役割の重要性を認識しながら、府融資制度利用者保証料と利子補給による資金繰りの支援など、中小企業興に関する施策を行っています。これらの施策は、中小企業章や中小企業基本法でうたっている理念に沿った内容になつていることから、直ち条例を制定する状況にはなるものと考えている。

幅広い施策をバランス良く実施していく必要がある。中生までの助成拡大について考えていない。

○児童が安心して学校通えるよう同志社山手北バ停前に信号機の設置を。

①三山木小学校正門前の断歩道に信号機の設置を。

(建設部長) ②地元自治会の要望を踏まえて府田辺察署に信号機の設置を要望をつたところ、今後、山手幹線の交通状況等を勘案しながら

問 防災強化は整っているか

答 訓練を検証し課題探る

上田毅議員(一新会)

問 防災強化訓練

例の強化について、市内に、ポイ捨て禁止啓発の作りポスター作成を要請し掲示したり、運動強化のために条例を掲載したポケットイッシュを配布する、喫煙所を完全に分離して設けるという考えはないか。